

Trans-Sagami Yacht Race 2014・石廊崎レース  
【レース参加にあたってのご注意】

本レース適用の規定の改訂に伴い、参加者の安全を考慮して2014年より参加資格の変更を行う予定です。

本書には、参加資格変更の要点を記載しています。本書の内容は要約ですので、最終的にはレース公示や適用規則をよく読み、ご理解ください。

**TSクラスが無くなります (Trans-Sagami Yacht Race・石廊崎レース共に)**

昨年までの本レースは、IRC または ORC のレーティングを持たない艇のために、レース主催者が定めたレーティングにて成績を算出する「TSクラス」を設けて参加を認めていました。今年からは、TSクラスは廃止して「IRCクラス(有効なIRCレーティング証書が必要)」と「ORCクラス(有効なORCレーティング証書が必要)」のみで開催いたします。

**[TSクラス廃止の理由]**

本レースは同じ海域でレースを行う全ての参加艇は、同じ安全の基準にてレースを行うべきであると考え、IRC や ORC クラスと同様にレーティング証書を保有しない TS クラスにも JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリー3 を参加資格としてきました(一部変更有り)。これは、ひとえに参加者の事故防止および万が一事故が起きた場合でも、被害拡大防止のためと考えるためです。

今年、国際セーリング連盟 (ISAF) が定める Offshore Special Regulations の改訂年です。今年改訂にて、「**艇のスタビリティ (復原力) の証明**」が義務付けられました (モノハル・カテゴリー3以上)。この ISAF の改訂に伴い、日本セーリング連盟 (JSAF) の JSAF 外洋特別規定も同様に改訂されています。

自艇の「艇のスタビリティ (復原力)」は、IRC または ORC のレーティング証書を保有していれば簡単に確認出来ますが、**有効なレーティング証書を保有していない艇はその証明が大変困難なこととなります**。現実的には IRC や ORC レーティング証書を持っていない艇が、スタビリティ (復原力) のみ証明するよりも、IRC や ORC レーティング証書を取得する方がずっと簡易かつ安価です。従って、今年から TS クラスは廃止とすることとしました。

**[TSクラス→IRCかORCクラス参加へ向けて]**

昨年まで TS クラスへ参加していた方で、今年も参加する場合は以下の工程の作業が必要です。

**1. JSAF へ艇登録**

JSAF に艇登録していない艇は、JSAF へ艇登録が必要です。艇登録する場合は、先にオーナー (または艇代表) が JSAF 会員としての登録も必要です。

艇登録は、最寄りの JSAF 加盟団体 (県連や外洋団体) もしくは JSAF 特別加盟団体 (クラブなど) にお問い合わせください。

<http://www.jsaf.or.jp/dantai/index.htm>

## 2. IRC または ORC レーティングの取得

IRC または ORC レーティングの取得は、自身が登録した JSAF 加盟団体（県連や外洋団体）もしくは JSAF 特別加盟団体（クラブなど）にお問い合わせください。

それぞれのレーティングの詳細やレーティング規則は下記ホームページにて入手できます。

IRC に関して <http://jsafirc.com>

ORC に関して <http://www.orcan.org>

## 3. レーティング証書内のスタビリティー数値を確認

レーティング証書の取得により、自艇のスタビリティー（復原力）数値の確認が行えます。レーティング証書のスタビリティー（復原力）数値が JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリー3 で要求されている数値を上回っているかどうか確認ください。

JSAF 外洋特別規定および JSAF 外洋特別規定改正ポイント（レーティング証書での数値確認箇所が表記）に関しては以下のホームページで確認ください。

JSAF 外洋特別規定 <http://www.jsaf-anzen.jp/1-1.html>

JSAF 外洋特別規定改正ポイント <http://www.jsaf-anzen.jp/1-11.html>

**【注】**有効なレーティング証書を取得したからといって、JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリー3 で要求されているスタビリティー（復原力）の証明ができたわけではありません。必ず、自艇のスタビリティー（復原力）必要な数値以上なのか確認してください。数値が下回っている場合は、参加資格を満たしません。

## 4. 通信設備の準備（ハンディ VHF トランシーバーは必ず）

昨年までの TS クラスにも JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリー3 が適用されていましたが、必要な通信設備のうち「ハンディ VHF トランシーバー」を免除していました。

IRC または ORC クラスでの参加では、「ハンディ VHF トランシーバー」が必要となります。VHF トランシーバーを搭載するにあたり、海上無線技士の免許取得と艇の開局手続きも必要となりますので、早めに準備ください。

JSAF 外洋特別規定モノハル・カテゴリー3 では、上記ハンディ VHF トランシーバーを含め、下記の2種類のトランシーバーが必要となります。

①. 防水対策されたハンディタイプの VHF トランシーバー【規定番号 3. 29. 1 e】

②. 船舶用トランシーバー【規定番号 3. 29. 1 a】

①のハンディタイプ VHF トランシーバーは②のトランシーバーの種類に関わらず、搭載が必要です。

②の船舶用トランシーバーは現時点でいくつかの選択肢があります。例えば下記、

a. 出力 25 ワットでマストトップアンテナを持つ VHF トランシーバー

b. 衛星電話（イリジウム、船舶電話、サットコムなど）。一般携帯電話は不可。

a. の 25 ワット VHF を選択した場合の仕様詳細は【規定番号 3. 29. 1 b】に記載されています。設備の工事に加え、日本国内においては使用において海上無線技士 2 級以上の免許と開局手続きが必要となりますので早めに準備ください。なお、25 ワットの VHF トランシーバーを装備しても、①. のハンディタイプ VHF トランシーバーは別途必要となります。

b. 衛星電話は免許不要です。イリジウム衛星携帯電話が比較的入手が容易で購入以外にレンタルも可能です。

以上